

講演会講師論稿

講演会報告

平成二十年の講演会は、三月九日（日）に後藤重巳先生の演題「生活の中に生きる歴史」の講演が行われ、五月三十一日（日）には末廣利人先生の「大分県の古道について」の演題での講演が行われました。

末廣先生にお願いしてその時の御講演内容をまとめていた



後藤重巳先生



末廣利人先生



三重野勝人先生

できました。特別企画『別府の古い道 歴史散歩』の研究の指針したいと思います。

十月十二日（日）には三重野勝人先生の「油屋熊八翁の実像を探る」の演題での講演が行われました。その際に武藏次男氏が詩をお寄せ下さいましたので、次に載せます。

油屋熊八翁を称える歌

武藏次男

① 油屋熊八翁を称える

伊予の国宇和島港を

船出して、豊後温の国

別府にて、立身出世を

志し 遊覧バスを

走らせて、多くの人を

楽しませ、

貴方の発想

素晴らしい

呼熊八翁、熊八翁

② 富士の高嶺に

杭を打ち

山は富士 海は

瀬戸内 温は別府

こんな文句で

全国に、別府の町を

宣伝す

貴方の発想

偉大なり

呼熊八翁、熊八翁